

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年4月21日

規則正しく…

新学期になり2週間ほど経ちました。児童のみなさんの中には少し頑張りすぎて疲れがでてきている人もいるのではないかと思います。

日中にはずいぶん暖かく（暑く？）感じることもあります。まだまだ朝は肌寒く感じる日もあり、体調を崩しやすい時期ですのでバランスのいい食事をとり、睡眠時間もしっかりとって生活したいものです。

賛否両論あっても当然…しかし

さて県内の聖火リレーが19日から始まりまして。土佐清水市でも聖火リレーが行われ、多くの人の応援が見られました。



聖火リレーが盛り上がる一方で、複雑な思いで応援をすることとなりました。

今日も全国での新型コロナウイルスの感染拡大は止まりません。一部の都道府県では『まん延防止等重点措置』が適応されていますが、大阪府からは3回目の緊急事態宣言の要請がだされました。それを受けて大阪府、兵庫県、東京都の三都府県に国から緊急事態宣言がだされるようです。人の生活がかかっているの、ずいぶん悩んでの判断だと思いますが、命を守る行動を最優先させるためには必要な判断なのかも知れません。

それにしてもあと開幕式まで95日の東京オリンピック。いったいどうなるのでしょうか？〇〇のみぞ知る！？といったことでしょうか。

本当は1年前に行われていたオリンピックでしたが、1年延びたことで環境が180度変わった人もいたのではないかと思います。オリンピックが行われた際には、選手のみならず、活躍できること、参加する総ての人々の安心安全が守られることを祈るばかりです。

みなさんご存じとは思いますが、1年延びたことで東京オリンピックの舞台に立つようになった一人の水泳選手がいます。3歳から始めた水泳で世界のトップスイマーへと活躍していましたが、2年前に長期療養となりました。

白血病との闘病で16年間積み上げてきたものを失った彼女は、それをまた1から積み直していく。普通なら気持ちが萎えてしまいそうなものだが、彼女からは自らの選択と行動で運命を変えようとしている姿が見て取れる。コロナ禍でいろいろなことが思い通りにならない日々が続く中でも、自分が目指すべき道を見失うことのなかった、彼女の持つ意志の強さなのかもしれません。

ところでオリンピックに出場が決まった後、彼女が会見で「まさか全部優勝して内定を2つもいただけたとは…〈中省略〉…先頭に頑張ってきて良かったです。『…スポーツの力をみんなに届けて、より良い気持ちに、日本中だけでなく、世界中がそういう風になってほしいかなと思います』」などの話をしました。

この言葉に対して、皮肉にも批判的な言葉を発する人達がいました。

先にも述べたようにコロナ感染症は終息するどころか三度緊急事態宣言がだされようとしている状況で、切迫した状況であることは間違いありません。人の命を守るために一生懸命になっている人がたくさんいることも事実です。特に医療現場の人達にとっては、私たちが考えられないくらい苦労をされて、強く感じていることも多くあると思います。本当に頭の下がる思いです。

伝えられているすべてを肯定するわけでも批判するわけでもありませんが、考えていきたいことは、いろいろな立場で言葉を発して、どうにかしたいと本気で考えている人達はたくさんいることは事実です。若いベテランか、経験があるかないかではなく、その環境で頑張っている人がいるとしたならば、決してその人達の足を引っ張るようなことは、すべきではないと思います。

思い出してください。今から10年前に起こった東日本大震災の後に世界中で語り継がれてきたことは、人としての優しさや思いやりだったのではないのでしょうか。

コロナ禍の中で、たくさんの生活が変わってきたことは事実で、今でも多くの方が悩み苦しんでいることは事実ですが、今こそ本当の優しさや思いやり、助け合いが必要なのではないのでしょうか。

私自身、人に自慢できるような生き方をしていたわけではないですが、1つだけ言えるとしたら、今の私があるのは、両親をはじめ家族、友達そして子ども達や保護者、地域の皆さまのおかげだと思います。感謝でしかありません。

これからの自分にできることとしたら、清水小の子ども達に清水小学校で学べて良かったと思える教育を進めることだと思います。

物事には賛否両論があってもあたりまえですが、自分のことだけを中心として考えるのではなく、これからの子ども達のためになることをしっかり考えていきたいものです。

ずいぶん口説く書いてしまいましたが、タイトルのように「笑って、楽しく、幸せに」なるように協働で、よろしくお願いします。